

研究計画概要

助成年度・種別	2025年度 一般研究助成
研究代表者	佐藤 広英
所属	信州大学
研究テーマ	ダークパターンによる意図しない個人情報提供の同意を予防する方策の実証的検討
研究計画概要	<p>近年、ウェブサイトやアプリでは、消費者に不要なサービスを契約させたり、個人情報を意図せず提供させたりする「ダークパターン」と呼ばれる手法が巧妙に用いられている。これにより、消費者の被害が深刻化しており、防止策の必要性が高まっている。</p> <p>従来の研究では、ダークパターンの分類や影響に関する検討は進んでいるが、それを防ぐ方法についての研究はほとんど行われていない。本研究では、消費者がダークパターンを事前に学習することで、被害を防ぐことができるかどうかを検証する。</p> <p>まず、ダークパターンの具体的な手口を収集し、データベース化する。文献やネット記事の分析に加え、一般消費者 1000 名を対象にアンケートを実施し、実際に経験したダークパターンを詳しく調査する。次に、事前学習の効果を検証するウェブ実験を行う。消費者 400 名を対象に、ダークパターンの手口を事前学習するグループと学習しないグループに分け、ネットショッピングの登録画面で、ダークパターンを含む条件と含まない条件を比較し、事前学習の効果を測定する。</p> <p>本研究の成果により、消費者がダークパターンを見抜く力を高め、デジタル社会の安全性向上に貢献できると考えられる。消費者自身がリスクを認識し、適切な判断を下せるようになることで、長期的な被害防止につながることを期待される。</p>
選考委員からのコメント	<p>デジタル社会における消費者の安全性の確保という喫緊の問題に関し、今までのプライバシー研究を活かし、かなり具体的な研究計画を示した点が評価された。「AIの危険性」への対処という視点は、選挙におけるAIやSNSの問題にもつながる。</p> <p>「ダークパターンの手口の学習」を社会実装には、ハードルが存在するが、業績が十分にあり、今回の準備状況も良好と判断された。</p>